



おカネの話あれこれ

2014年3月27日
日本銀行広島支店
本幡克哉

日本銀行の役割

「おカネ」を安心して使えるようにする！



1. 「おカネ」とは？

- 日本銀行券：あらゆる決済に無制限に通用
 - 他の主な決済の手段
 - ✓ 硬貨（法貨としての適用上限は20枚まで）
 - ✓ 預金（給与振込、自動引き落としなど）
 - ✓ クレジットカード、デビットカード、電子マネーなど
(ビットコインは???)

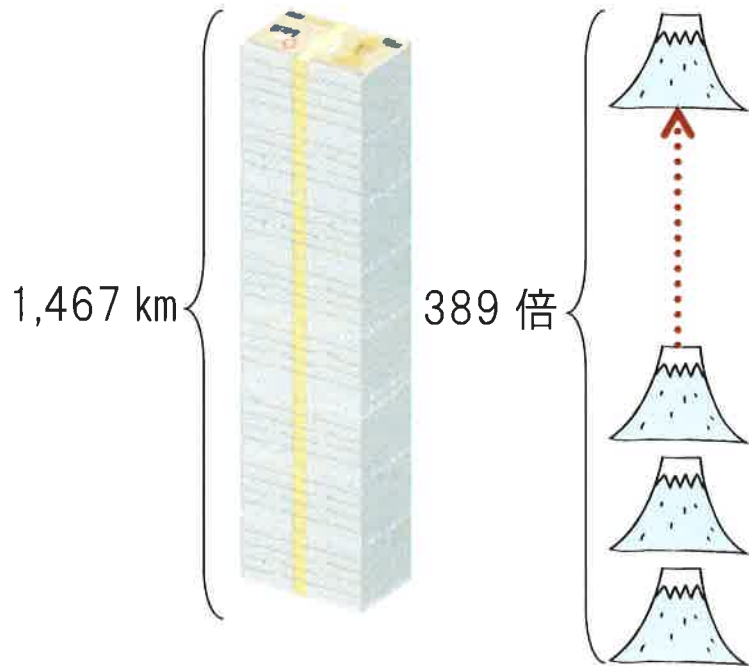
- 日本銀行は、日本で銀行券を発行する唯一の主体
 - 硬貨を発行する主体は日本国政府

2. 「銀行券好き」の日本人

発行高(2013年末) ⇒ 90.1兆円、147億枚

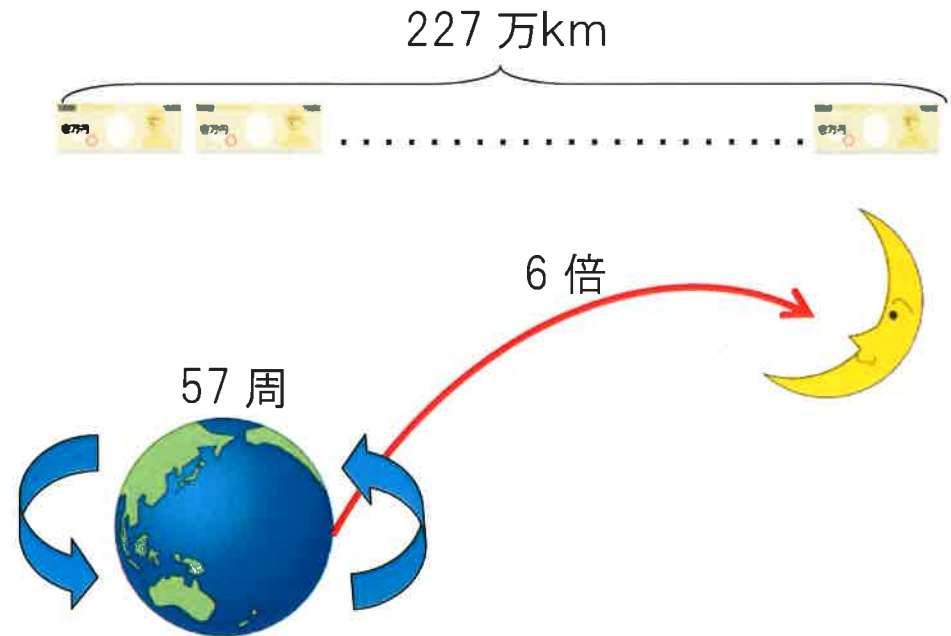
積み上げると ⇒ 1,467km

= 富士山の389倍



横に並べると ⇒ 227万km

= 地球を57周 月までの距離の6倍



銀行券発行高に関する国際比較(2012年)

- 銀行券発行枚数を人口で割ると・・・

				
102枚	50枚	47枚	58枚	99枚

1ドル札を含む

(参考) 家計の現金保有高・・・約56兆円 (全体の約62%)





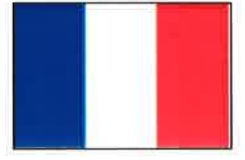
⇒ 1人当りの銀行券保有高は、41万円という計算

- 銀行券発行金額を名目GDPで割ると・・・

				
6.9%	3.6%	9.5%	3.5%	18.2%

➤ ATMからの1回の平均引出額

(2012 年中、単位:万円)

				
4.7	1.1	0.8	1.6	0.8

(注) 米国の計数は、2009 年中。

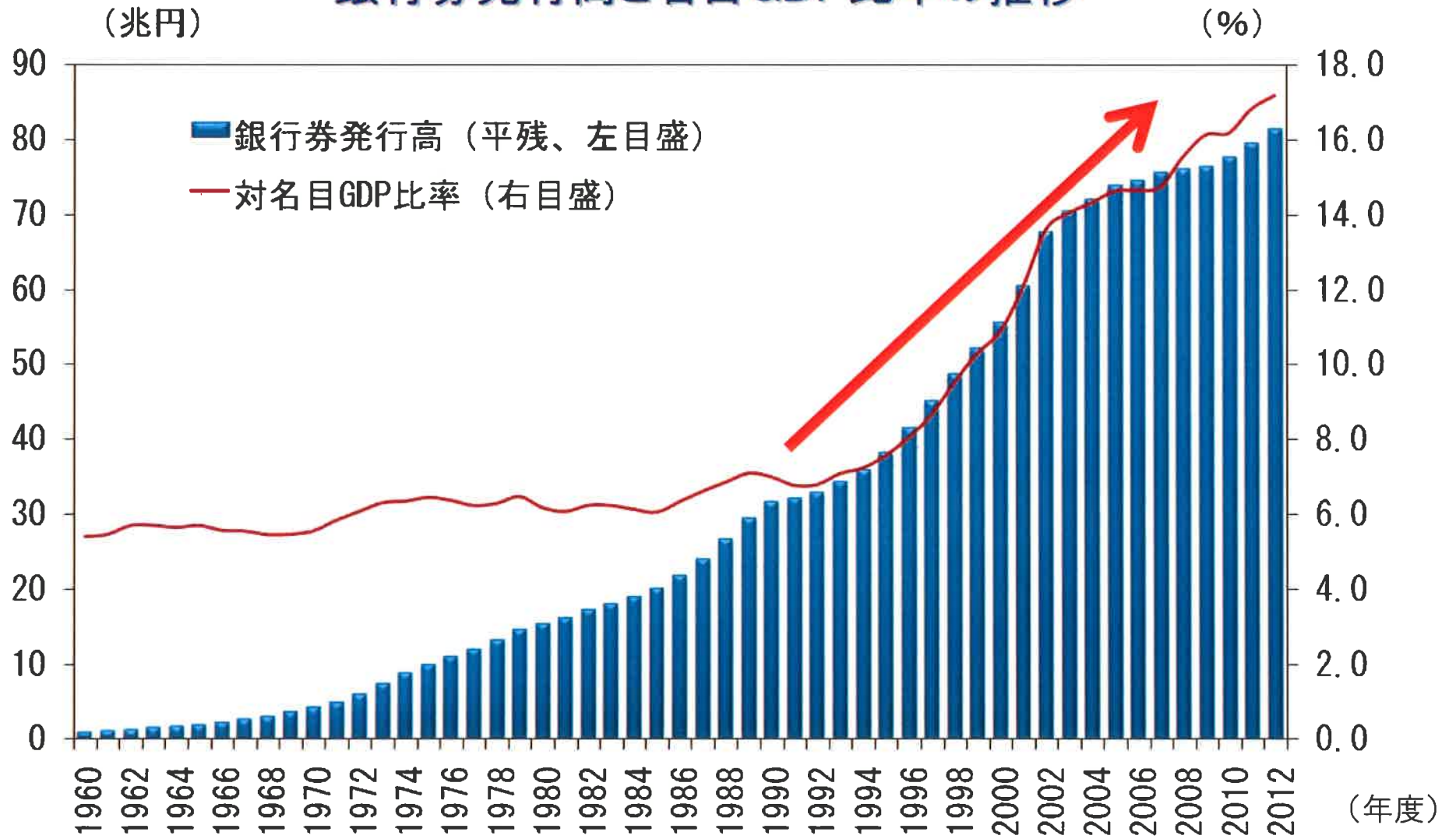
➤ 自動販売機の普及台数



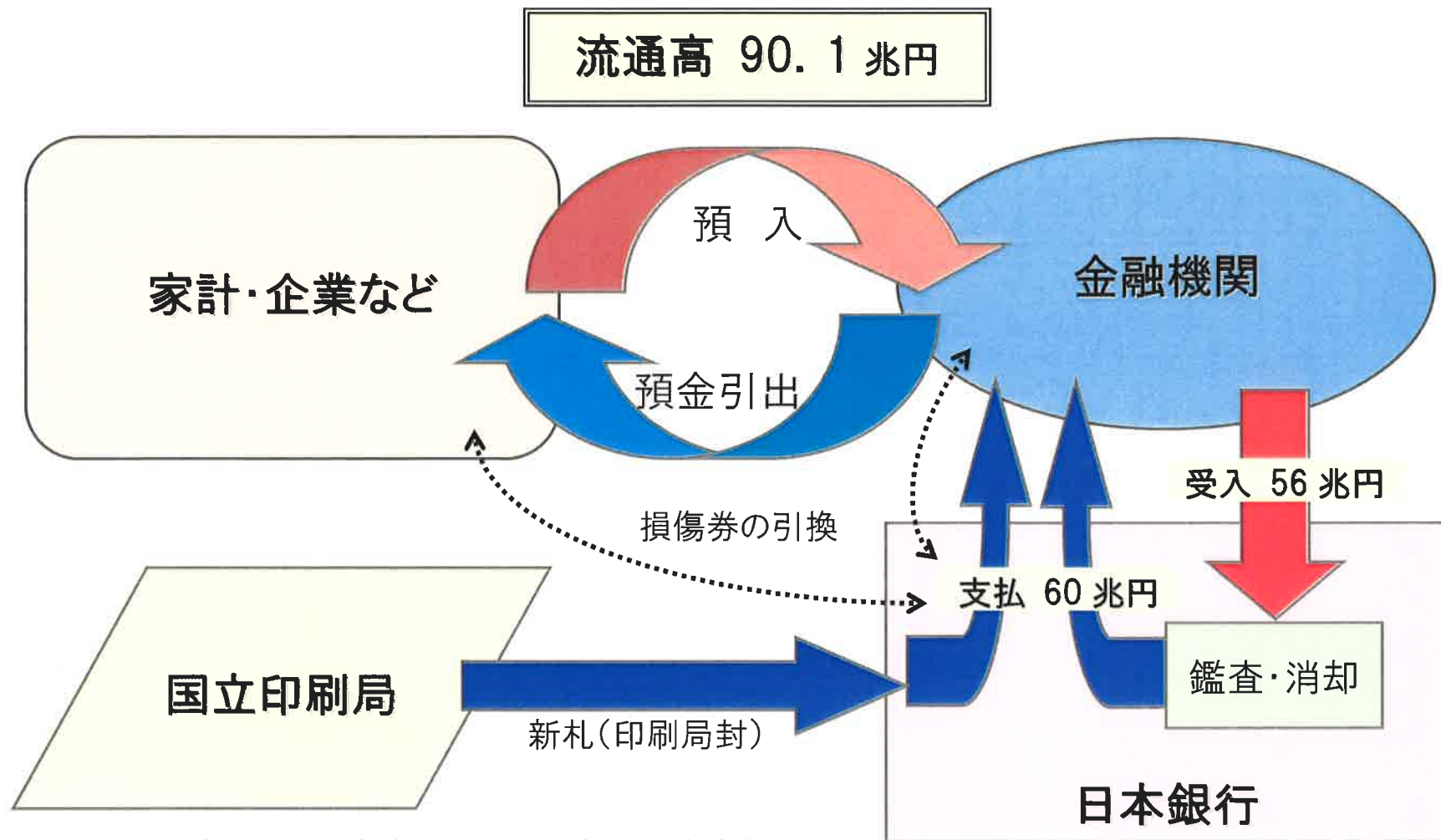
(2012 年末<米国の計数は 2011 年末>、単位:台)

	自動販売機台数	人口百人当りの自動販売機台数
	5,092,730	4.0
	6,679,600	2.1

銀行券発行高と名目GDP比率の推移

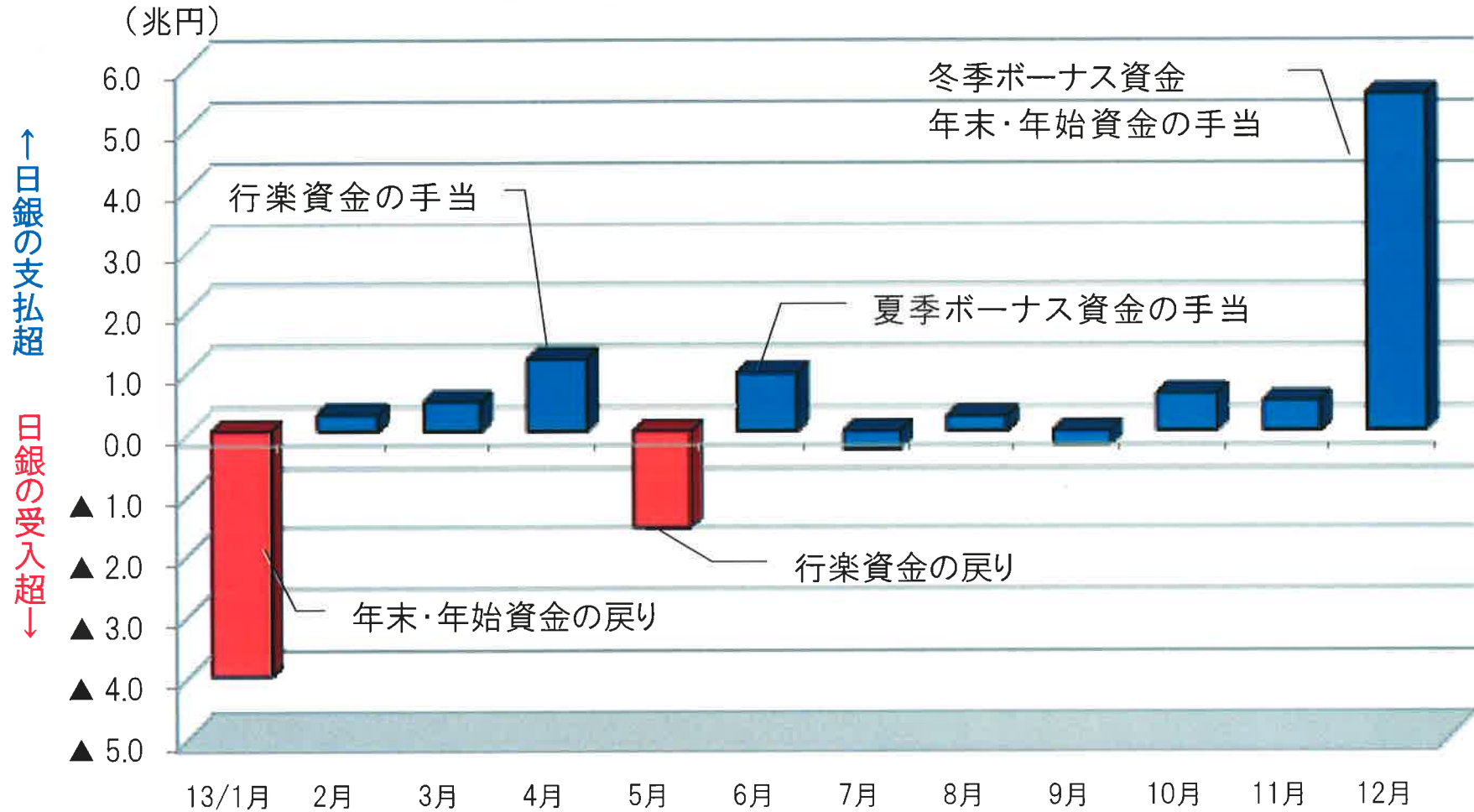


3. 銀行券の流通の仕組み



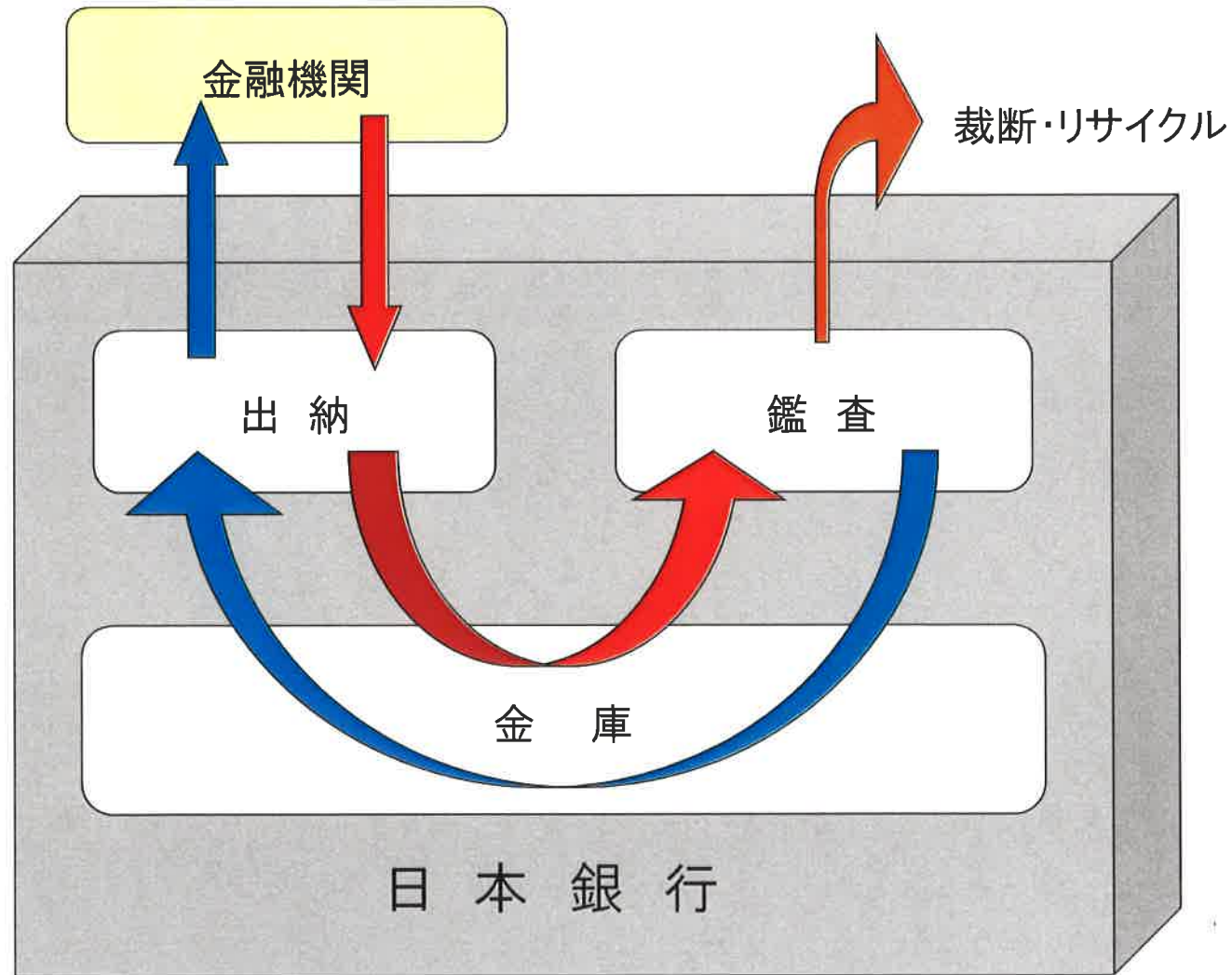
(注) 図中の計数は、2013年中もしくは2013年12月末時点。

銀行券の月別の受払動向



(注) 2013年のデータを用いて作成。

4. 銀行券の出納・保管・鑑査・リサイクル



銀行券の出納

- 取引先金融機関との間の銀行券の受払



(支払う銀行券を準備中)

銀行券の保管

- 日本銀行の本支店では、取引先金融機関に払出するための銀行券を保管



1万円札 1億円分(1万枚 約10kg)



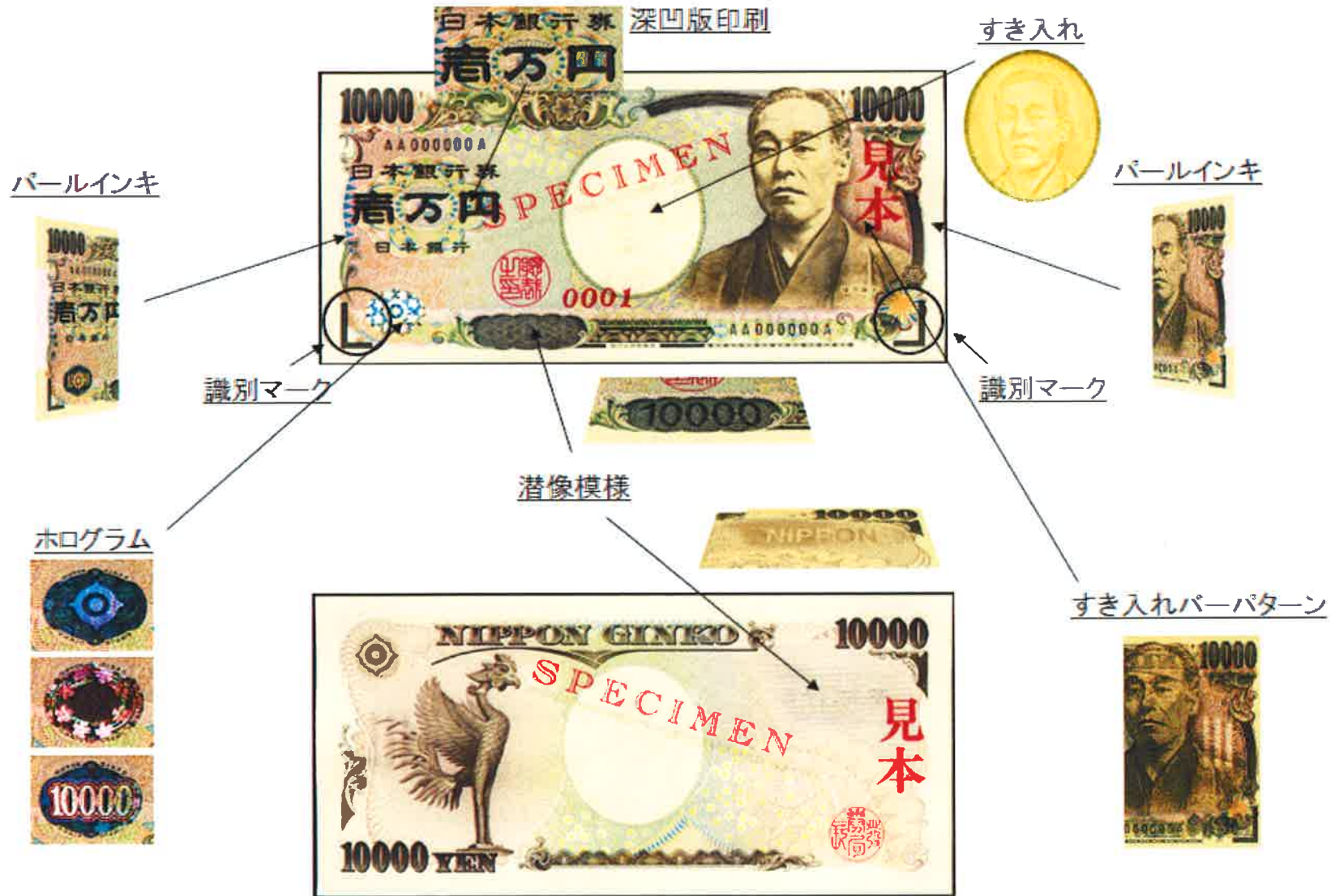
1パレットで40億円分(40万枚 約400kg)

銀行券の鑑査

- ①真偽鑑定、②正損選別、③枚数計査
- 自動鑑査機による鑑査と手鑑査



銀行券のチェックポイント



銀行券のリサイクル

- 鑑査を行った結果、再流通に適さないと判断されたものは細かく裁断
- 裁断屑の約半分はリサイクル(例:住宅用建材、固形燃料、事務用品)



5. 損傷銀行券の引換基準

損傷銀行券の引換作業

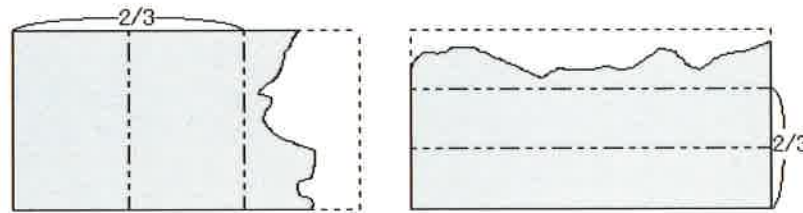


(東日本大震災時)

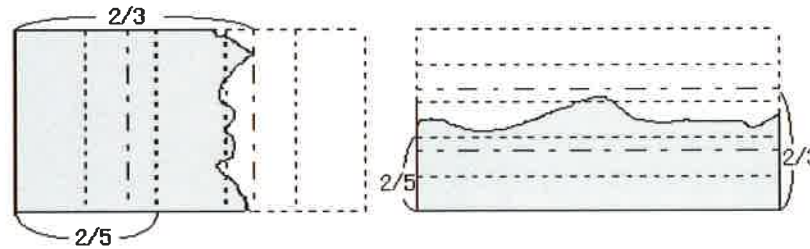
損傷銀行券の引換基準

表裏の両面が具備されている銀行券を以下の基準により引換え

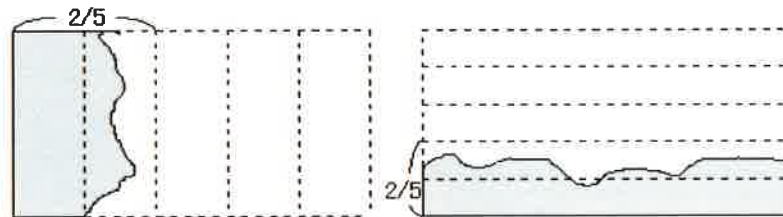
- 面積が3分の2以上の場合は全額として引換え



- 面積が5分の2以上、3分の2未満の場合は半額として引換え



- 面積が5分の2未満の場合は銀行券としての価値は無く失効



6. 東日本大震災と日本銀行の発券業務

震災(2011年3月11日)直後の現金供給

- 被災地の支店および本店で休日も含め円滑な現金供給を実施
- 東北4支店(保管店含む)では、3月12日～18日の7日間に
3,112億円の銀行券を支払
—— 前年3月7営業日分対比2.9倍

損傷通貨の引換え

- 震災発生後、タイムラグを伴いゴールデンウィーク前後から引換え物件の持ち込みが著増
- 4月20日に盛岡市の岩手銀行本店内に臨時引換え窓口を設置（7月20日に閉鎖）
- 東北4支店では、震災後、9月末までに34億円の損傷通貨の引換えを実施（うち盛岡市臨時引換え窓口分は8億円）
 - 阪神・淡路大震災の時は、約半年間で8億円の引換え

おカネの話あれこれ
第2部

貨幣流通高前年比の推移(全国)

前年比%

	貨幣流通高	うち五円	うち一円
2008年末	+0.3	▲1.5	▲0.5
2009	▲0.7	▲2.0	▲1.2
2010	▲0.3	▲1.6	▲0.7
2011	+0.2	▲1.8	▲1.3
2012	+0.6	▲1.1	▲0.8
2013年6月末	+1.0	▲0.9	▲0.3
2013年12月末	+1.1	▲0.5	+0.0
2014年1月末	+1.1	▲0.6	+0.0
同 2月末	+1.0	▲0.5	+0.1
2013年末残高	46,265億円	551億円	389億円

(参考)一円製造枚数:25年度当初100万円⇒12月改定2600万円
⇒26年度1.6億円

「量的・質的金融緩和」(2013年4月4日～)

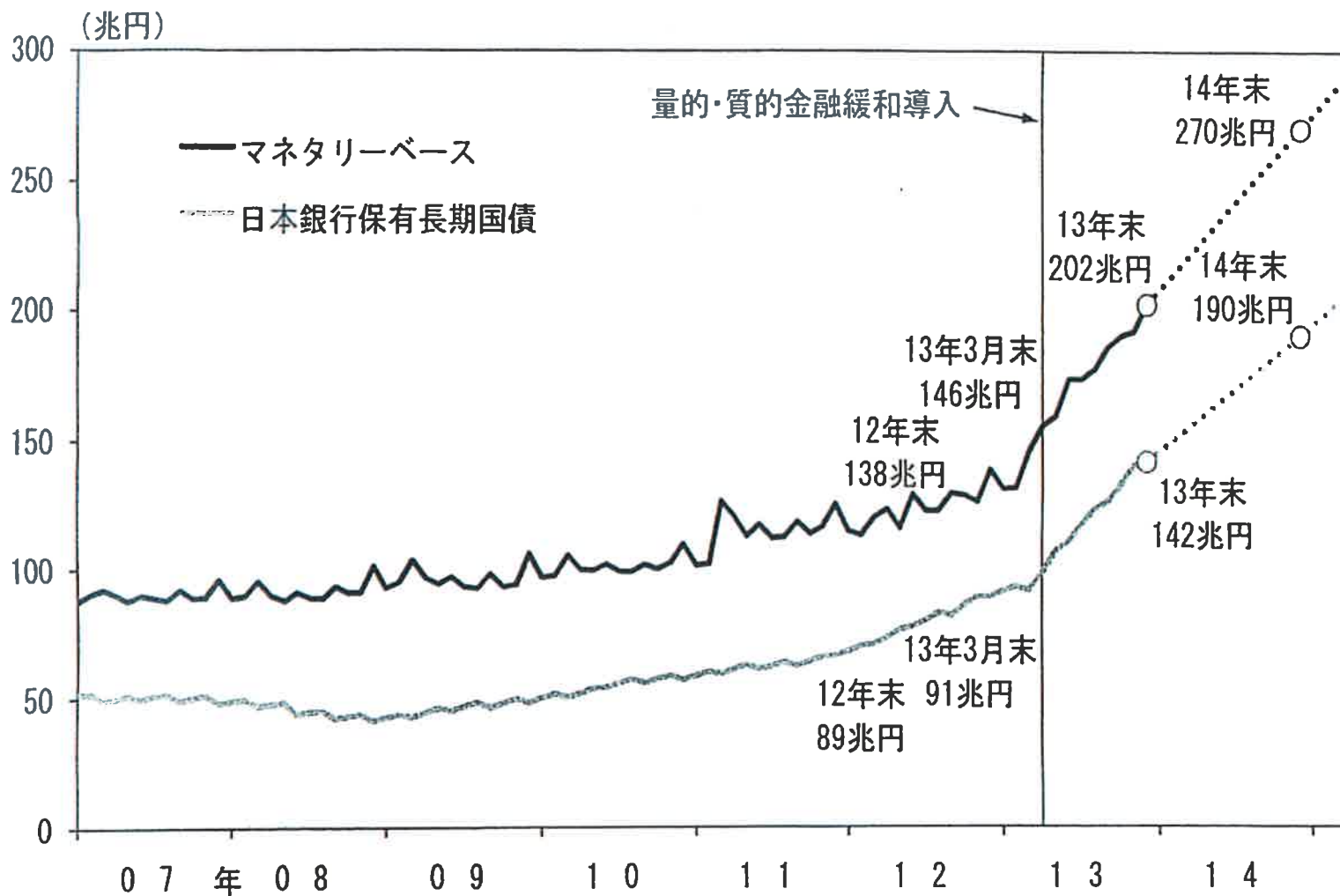
強く明確なコミットメント

- ・ 2%の「物価安定の目標」を、2年程度の期間を念頭に置いてできるだけ早期に実現

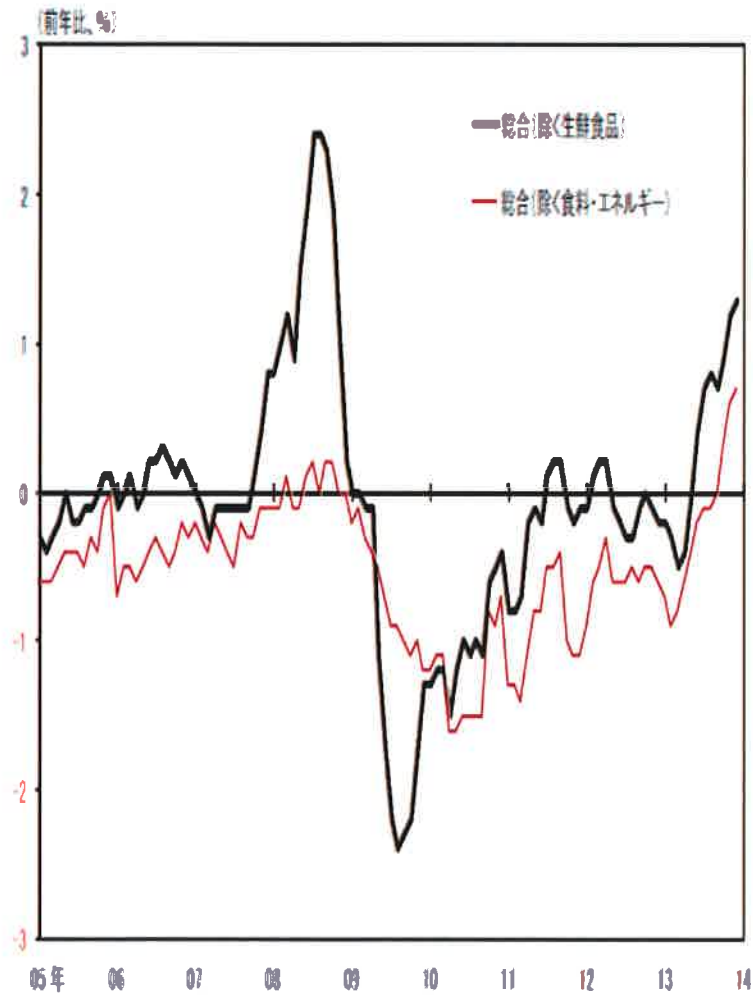
それを裏打ちする量・質ともに次元の違う金融緩和

- ・ マネタリーベース：年間約60～70兆円の増加（2年間で2倍）
- ・ 長期国債の保有残高：年間約50兆円の増加（2年間で2倍以上）
- ・ 長期国債買入れの平均残存期間：7年程度へ（2倍以上）
- ・ E T Fの保有残高：年間約1兆円の増加（2年間で2倍以上）

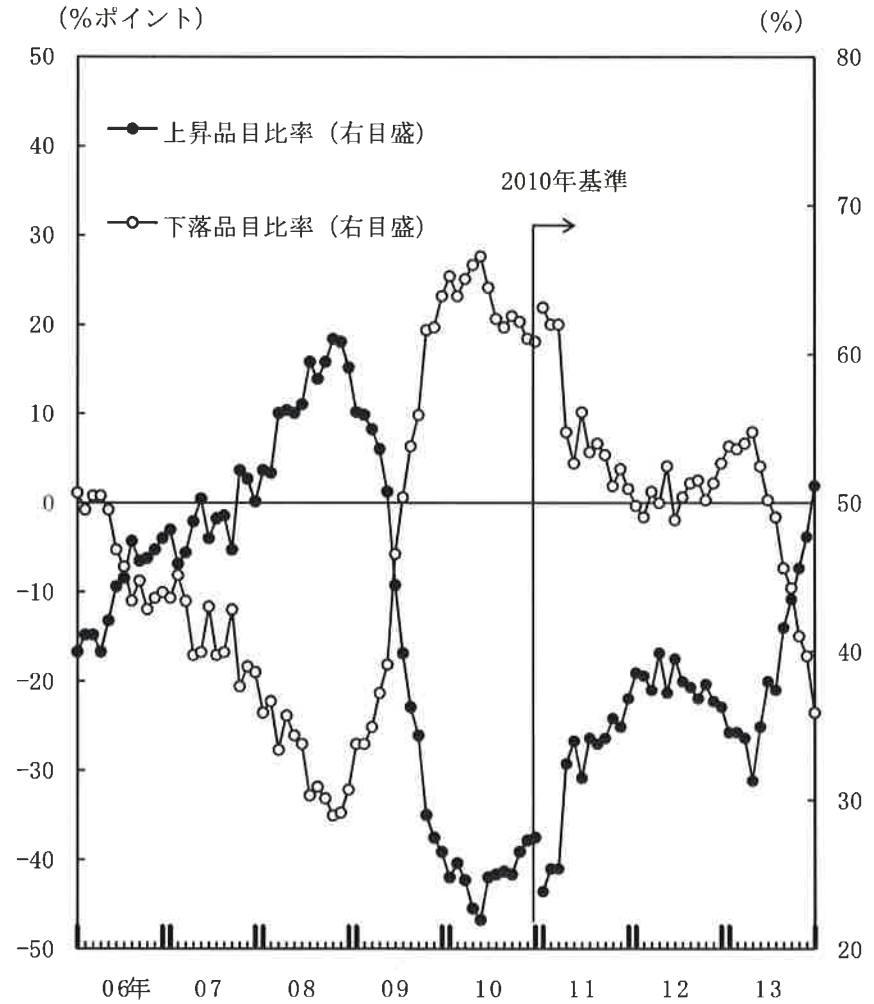
マネタリーベースと日銀の長期国債保有残高



消費者物価



(資料)総務省



「物価の安定」とは？

- 「モノやサービス全般の値段の変動に煩わされることなく、消費や投資などの意思決定ができる状況」

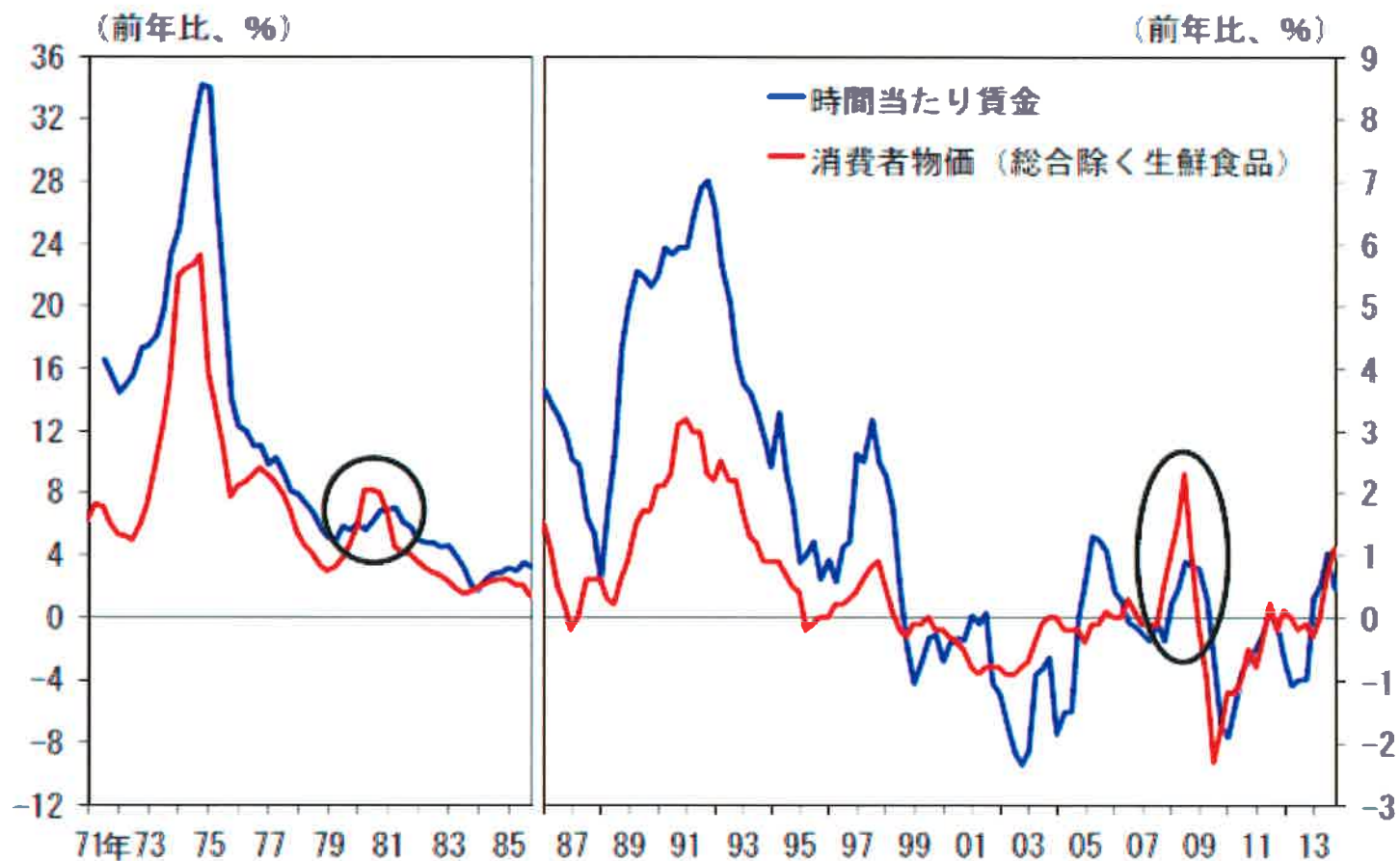
⇒なぜ「プラス2%」が安定目標なのか？

- ①物価指数の測定誤差（上昇バイアスがかかりやすい）
 - － 98～12年度の消費者物価（除く生鮮）前年比は、平均▲0.3%
 - ⇒デフレ脱却には、ある程度のプラスを目指す必要
- ②金融政策面の「のりしろ」
 - － 物価がある程度プラスなら、金利も相応にプラス
 - ⇒景気悪化時の利下げ余地を確保
- ③インフレ目標のグローバルスタンダードは2%程度

各国の物価安定目標

国名	名称	指標	数値
日本	物価安定の目標 Price Stability Target	消費者物価(総合)	2%
米国	Longer-Run Goal	個人消費(PCE)デフレーター (総合)	2%
ユーロ圏	Quantitative Definition	消費者物価(総合)	2%未満 かつ 2%近傍
英国	Target	消費者物価(総合)	2%
カナダ	Target	消費者物価(総合)	2% (1-3%の中心値)
オーストラリア	Target	消費者物価(総合)	2-3%
ニュージー ランド	Target	消費者物価(総合)	2%近傍 (1-3%の中心値)
スウェーデン	Target	消費者物価(総合)	2%
スイス	Definition	消費者物価(総合)	2%未満

賃金と消費者物価は概ね連動



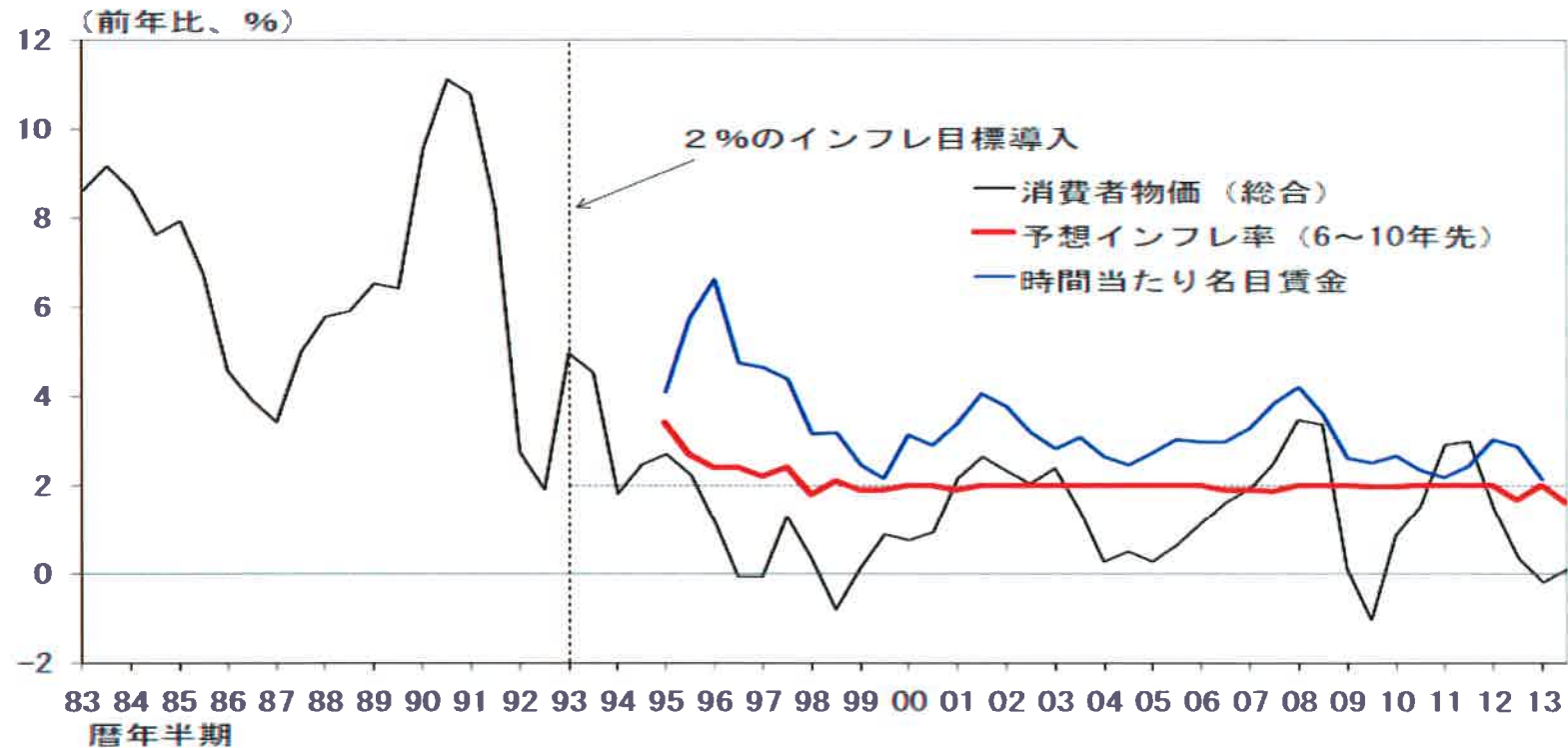
(注) 1. 消費者物価の前年比は、消費税調整済み。
2. 時間当たり賃金の1990年までは事業所規模30人以上の計数。後方3四半期移動平均値。
(資料) 総務省、厚生労働省

デフレ脱却後の経済・社会のイメージ

景気が普通の状態であっても「物価がだいたい2%くらい上がる」ことを前提に各経済主体が行動するような状態。

=価格や賃金の設定方式に2%程度の物価上昇が織り込まれた状態。

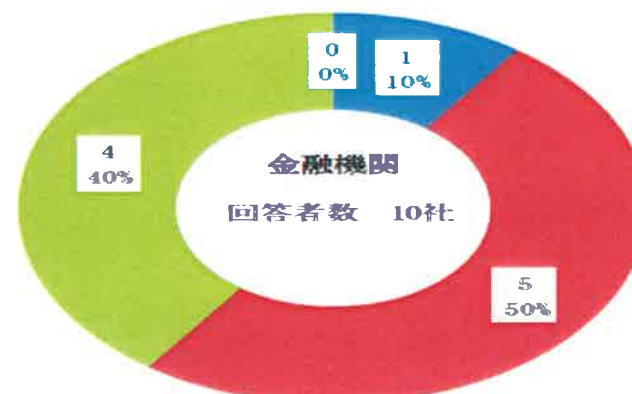
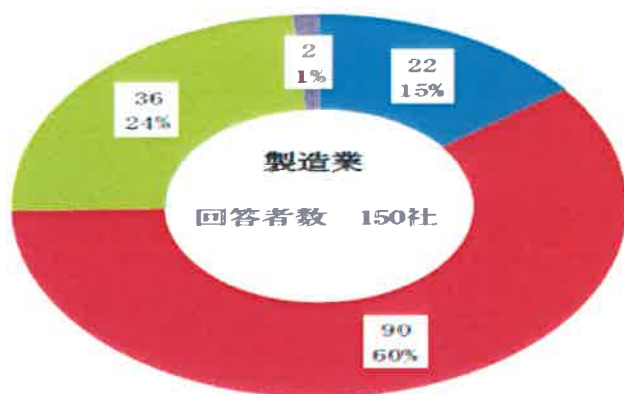
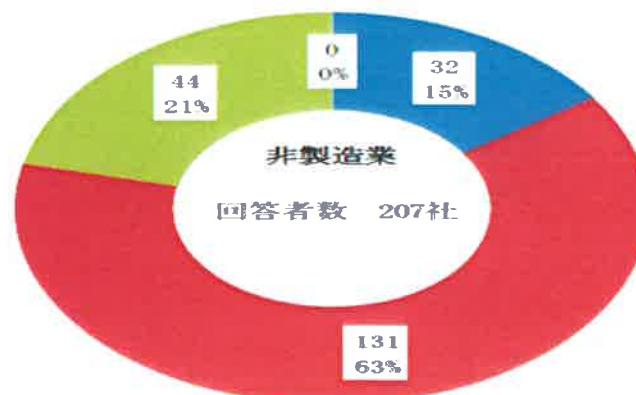
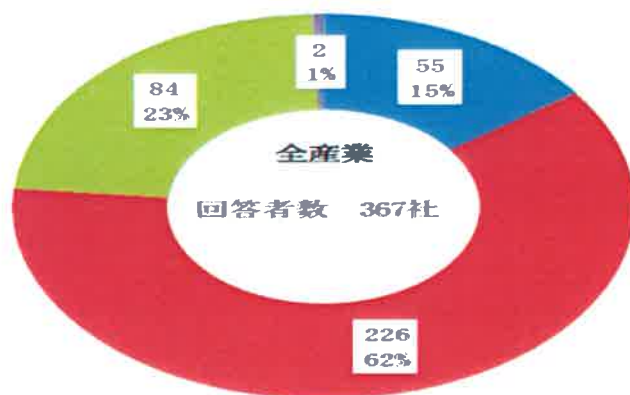
スウェーデンの予想インフレ率と賃金上昇率



(資料) OECD、Consensus Economics

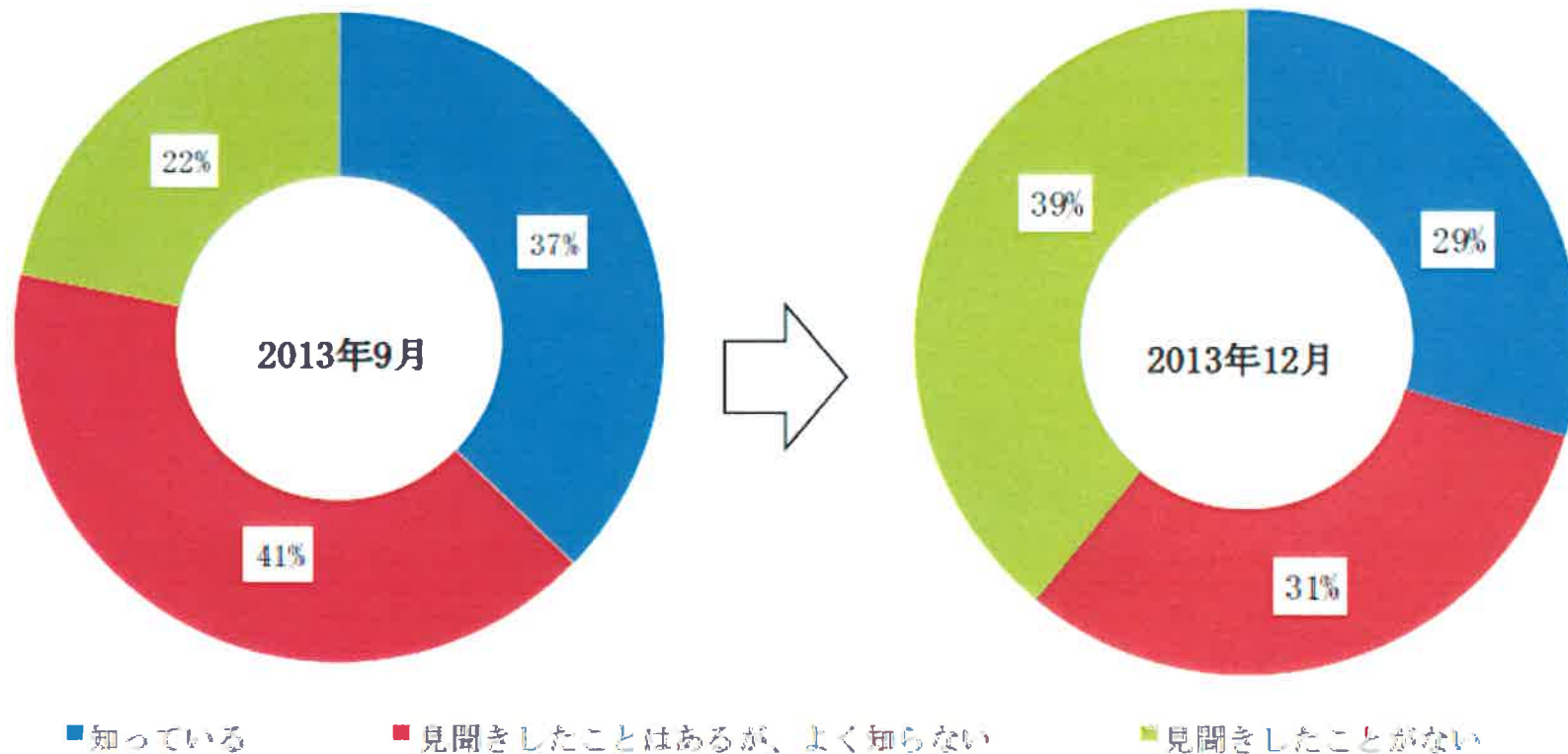
2%物価目標の実現可能性に関する企業の見方 (2014年1月)

■可能性は高い ■五分五分 ■可能性は低い ■可能性はゼロに近い



金融政策に関する家計の認識

質問：日本銀行が、消費者物価の前年比上昇率2%の「物価安定の目標」を掲げていることをご存知ですか。



(出所)日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」

ありがとうございました。
是非またお声かけください。